

すくすく園では、お子様が病気の回復期にお預かりしています。普段は元気いっぱいの子ども達も疲労で体調を崩すこともあります。ご家庭でもかかりやすい病気についての症状と正しい対応を知っていればあわてずに済みます。鳥取県中部感染症流行情報を参考にいただき、手洗い、消毒、うがい、マスク着用を徹底しながら病気に負けないように体調管理を心がけていきましょう。

鳥取県中部感染症流行情報

疾病名	第1週	第2週	第3週	第4週
インフルエンザ	×	×	×	×
感染性胃腸炎	○	○	○	○
水痘（水ぼうそう）	○	×	△	×
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	×	×	×	×
手足口病	◎	◎	○	○
ヘルパンギーナ	△	△	○	×
咽頭結膜熱	○	×	△	○
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	×	×	×	×
流行性角結膜炎	×	×	×	×
マイコプラズマ肺炎	×	×	×	×
伝染性紅斑	×	×	×	×
RSウイルス感染症	×	×	×	△

★警報発令中

◎流行している

△散発

○やや流行している

×患者発生極少又はなし

今月の気になる病気

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎ってどんな病気？

感染性胃腸炎とは、ウイルスが原因で起こる胃腸炎の総称です。

- 1つ目は腸炎ビブリオで、魚介類の刺身、すし類の喫食が原因で感染します。
- 2つ目はサルモネラで、卵および卵製品、洋菓子類、加熱不十分な食肉で感染します。
- 3つ目は病原大腸菌です。原因食品の特定が困難であることが特徴です。
- 4つ目カンピロバクターで、鶏肉、牛の生レバー、殺菌不十分な井戸水の喫食で感染します。
- 5つ目はロタウイルスで、飲料水や食物から感染します。
- 6つ目はノロウイルスで、カキなどの2枚貝の喫食が原因で感染します。

感染性胃腸炎の症状は？

感染性胃腸炎の症状は感染したウイルスや細菌によっても症状が異なりますが、主にみられるのは発熱、下痢、悪心、嘔吐、腹痛などです。最初に発熱が見られ、風邪かと思いき経過を見ていたら嘔吐、下痢など腹部症状が遅れて出現し、後々になって感染性胃腸炎であったことが分かるということもあります。

感染性胃腸炎の予防方法

感染性胃腸炎の最たる予防方法は手洗いです。石鹸で手を洗い、流水で30秒以上しっかりと洗い流しましょう。特に外出後や食事の前、食事の調理の前にはしっかりと手を洗うことが必要です。

感染者の方との手洗い後のタオルの共有は避け、感染者の方は手洗い後はペーパータオルを使用すると良いでしょう。

